

「農村って都会より 優遇されてるよねー」 にA子が反論!

まとめ=編集部 イラスト=アサミナオ



新人記者(?) A子。久々に登場。
相変わらず頑張ってます



A子

A子、同窓会に行く!

大学時代の同窓会に出席することにしたA子。都内の大学を卒業後、初めての同窓会とあって、意気揚々と出かけていった。

B美「久しぶり〜! 元気にしてた? A子って今、農業関係の出版社にいるでしょ?」

A子「うん、農家と農村が元気になるための雑誌をつくってるよ〜」

B美「TPPになって、農業は大変そうだよ。私も子供産んでから食べものこととかに関心あって、ちょっと心配だな」

A子「そっか、B美はお母さんになったんだ。食べものが外国からいっぱい来ると、安全性も心配だね。まあ、TPPもまだ決まったわけじゃないんだけど……」

C太「いやいや、農家には対策費もいっぱい出るみたいだし、TPPはもう決まってみたいものだろう? 農業もちょうどいい機会だし、補助金漬けはやめて競争力つけないと。TPPでいろいろ安くなってくれれば、俺ら消費者は助かるわけだし?」

B美「まあたしかに、いろいろ安くなるのは家計的にも嬉しいけど」



C太「日本の農産物ってすごく品質いいんだから、輸出もガンガンしたらいんだよ。実際大規模化して効率よくして稼いでる農家や企業だっているし、やりようはあるわけじゃない?」

A子「いや、そんなほんの一部の話で、そんな農家だけじゃ農村は維持できないんだよ。草刈りとか水路の管理とかもあるし……」

D介「そういえば、俺もこの前新聞で見たんだけどさ、前にウルグアイラウンド? TPPみたいな結ぶときに、6兆円も農業に対策費が出たんだって。でもそのお金で地方自治体は温泉とか道の駅とかつくっちゃったらしいよ! それってどうなの〜って俺らみたいな都会の納税者は思っちゃうよね」

A子「……」

B美「地方創生とかって、最近も結構な額のお金が出てたよね」

D介「そうそう、住んでる人は少ないのにさー。何かにつけて農村って都会より優遇されてるよねー」

—— 帰りの電車で一人、落ち込むA子。

はあ〜。いろいろ反論したいのに、いざとなると何も言えなかったな。悔しい、不意打ちだわ!

ふと目を上げたA子、電車の中吊りに派手な雑誌の広告を発見。「TPPは好機! 6割の農家は『家庭菜園』。趣味に補助金はいらぬ」と大きな文字で書かれている。厭気がさして目を離すと、今度は正面の座席のサラリーマンが広げる新聞が見えてしまった。「『農家イコール弱者』という発想は変えて」という見出しで、小泉進次郎が「攻めの農業」を鼓舞したことを持ち上げている。

あー、こういうのばかり読んでるから、みんなああいう考えになるのかあ。もう! 農村のことなんか何にも知らないくせに〜。

でも、ちゃんと反論できなかったのは、私が勉強不足のせいかもね。もつとちゃんと、自信を持って自分の考えを話せるようにならないと……。

よし、ここは職権濫用。いろんな人に会いに行つて、自信をもらおうぞ。目標は、自分の言葉でちゃんと反論できるようになること!